

食部会

2年間の総括(H20~21年度)

おかげさまで、平成21年10月15日(外宮神嘗祭の日)に外宮さんになんだ井である「御饌井(みけどん)」を誕生させることができました。



食部会では、当初「外宮さんになんだ名物づくり」をテーマとしました。そして外宮さんが「食の神様」であることから、手軽に食べられ、かつ米を基本食材とする「井」を開発することに絞り込み、平成21年10月15日(外宮神嘗祭の日)に誕生させることを目標として、外に向かって宣言しました。

そして平成20年11月に食部会が中心となり、一般公募に応じた方も含めて「外宮さんになんだ井を創ろう実行委員会」を立ち上げました。それ以来、さまざまな方の協力を得て、年表にあるような取組を行ってきました。実行委員会の開催回数は30回を優に超えます。特に、平成21年度は、伊勢商工会議所の地域資源∞全国展開事業により、人材面、資金面の支援を受けました。その結果、平成21年10月15日に無事、「井」誕生させることができました。そして現在、伊勢市内のおよそ20店で、井を食することができます。

◆ 食部会年表 ◆

【平成20年度】

食部会で「井」に決定

↓

11月実行委員会立ち上げ

↓

全体企画、募集要領等の検討

↓

【平成21年度】

4/1 募集開始

4/9 応募説明・講演会

↓

6/1 募集〆切り

6/7、6/20 一次審査会

↓

7/1 一次審査発表

↓

8/1 決勝コンテスト

↓

井の名称、定義の検討

井扱い店の募集

↓

10/15「御饌井」誕生イベント

10/16「御饌井」販売開始

(どん井火)

↓

12/1「御饌井」販売開始

(各店オリジナル井)

「御饌井」マップ等の配布

↓

各種PR、発信

↓

伊勢市内20店で井を提供

↓

事業者アンケート

↓

新しい組織体制へ...



↑ 8月1日決勝コンテスト



↑ 10月15日御饌井誕生
← 御饌井マップ



井扱い店が集まってPR



12月；東京日本橋でのPR

■ 成果

- ①うそをつくことなく、宣言どおり平成21年10月15日に「外宮さんになんだ井」を誕生させた
- ②伊勢らしい井の名称「御饌井」、定義・条件が完成
- ③B級グルメではなく「Jスタイルグルメ」の誕生・発信
- ④井プロジェクトによって「外宮さん」が食の神さまであることをPRできた
- ⑤20店の登録による飲食事業者の活性化と経済効果(井3,241食、290万円；11~1月)
- ⑥多くのマスコミが注目し、名古屋方面だけではなく、東京や関西方面にもPRできた
- ⑦井プロジェクトをきっかけに人材ネットワークができた
- ⑧食ブランド創造に関するノウハウの蓄積ができた

■ 課題

- ①飲食事業者参画型の運営体制づくり
- ②井の質の維持・向上
- ③改めて、ホンモノを追求する井づくり(例:神宮の行事や神饌、伊勢7食等)
- ④井のさらなる発信、継続的なPR
- ⑤井プロジェクトとしてお金が廻る仕組みづくり
- ⑥伊勢志摩地方の農産物との連携

■ 今後の展開(案)

- ①井プロジェクトの発展・深化
- ②次なる「外宮さん名物づくり」
- ③評価・向上の仕組みづくり

「御饌」という言葉との出会い。「御饌のある暮らし」